

11月8日 逍遙



ワタシ達・猫社会のルール、それは、無駄な争いはしない、ということ！  
ですから、ワタシもそうですが、他の猫とはなるべく出会わないよう、歩くルートや時間をずらしたり、相手に気付いても気付かぬふりをしたり。勿論、縄張り争いや雌猫を巡る争いのように、お互い譲れない時は、正面から睨み合い、激しく威嚇もしますし、それでも相手が引かなければ、かみついたり猫パンチも。でも、相手の息の根を止めるのが目的ではないので、どちらかの優位が確認できれば、勝った猫はそれ以上相手を攻撃はしないのです。

そんな猫のワタシ達から見ると、敗者への「寛容」を一切許さなかった西南戦争の結末は、どうしても理解できない、大久保のエゴ？西郷の諦観？今日は、そんな人間が遺した「戦争」の証言・私学校跡をまずは訪ねて、車の数が国道ほどはない城山トンネル近くの横断歩道を人様にくっついて渡り、医療センター沿いのレンガ調の歩道をトコトコと・・・向かう先には、あの西郷さんの姿を見守り続けた、桜島と南の島々につながる鹿児島湾が・・・

# すず 猫社会のルールを語る、

のころ



次回「すず 私学校跡に想う、のころ」